

# モモ・ブドウの肥大促進技術の確立とブランディングに関する研究 (H28~30)

## 背景とねらい

・ブドウ・モモの生産量が全国一位



しかし、全国的な産地間競争は激しい

魅力ある商材開発が求められている

・出荷規格内では、ボリューム感がある大玉や大粒の果実が高値で取引されている

・大玉・大粒で食味が優れる山梨県オリジナル品種が育成された

・規格を超える果実の有利販売方法は不明

## 試験内容

モモ・ブドウの肥大促進技術の確立(果試)

果実肥大に影響する要因の解明

【モモ】

- ・果実が着果する位置
- ・枝の種類
- ・葉果比
- ・摘蕾・摘果の程度
- etc



【ブドウ】

- ・房の粒数
- ・植物調節剤の利用
- ・液肥の効果
- ・新梢の強摘心
- etc

大玉・大粒化栽培技術の確立

【目標】 モモ: 500g/個、ブドウ: 30g/粒

【通常】 モモ: 350g/個、ブドウ: 20g/粒

大玉・大粒果実のブランディング  
(工技セ・山梨学院大・果試)



注)イメージ

着色抑制手法やデザインの検討、シミュレーションによる評価手法の開発



専用パッケージの試作と印象評価

ブランディング方法の提案

大玉・大粒果実の流通特性、需要特性を調査・実験し、ブランディングの方法を示す

## 期待される効果

○果実の大玉・大粒化技術が確立し、高品質化が図られる

○話題性があり、魅力的な商材が開発される

○規格を超える果実の有利販売ができる

○山梨県産果実のブランド力が強化される